

# 定例公安委員会開催状況

平成30年9月27日（木）

## 平成30年全国優良警察職員表彰受賞者の決定について（警務部）

首席監察官から、

全国優良警察職員表彰は、多年にわたり職務に精励し、多くの業績を挙げ、多大な功労があり一般の模範になる者に対して警察庁長官賞詞が授与されるものである。

平成30年受賞者について、

袋井警察署 警部補 55歳

と決定した。

表彰式は、10月2日午前10時30分からグランドアーク半蔵門において、警察庁長官、次長、官房長等、受賞者及び配偶者が出席して行われる。

受賞報告式について、10月10日午前9時15分から本部長室において行う予定である。

旨の報告を受けた。

## 苦情・相談取扱状況（8月中）について（警務部）

首席監察官から、

8月中の苦情取扱いについて、警察宛3件を受理し、調査が完了した2件に不適切な取扱いが認められた。いずれも上司が苦情申出者に説明を行い謝罪したことで苦情申出者の理解を得た。

7月以前に受理した苦情処理状況について、調査済み4件のうち1件に不適切な取扱いが認められた。よって、上司が説明を行い謝罪し、苦情申出者の理解を得た。

8月中の相談の取扱状況は2,582件、感謝事例は12件、相談を端緒とした検挙事例は10件あった。

旨の報告を受けた。

## 掛川信用金庫によるATM画面を活用した架空請求詐欺被害防止 対策について（生活安全部）

生活安全部長から、

特殊詐欺の手口の一つに架空請求詐欺があり、その被害者は、一方的に送り付けられたショートメール、はがき等により被害に遭っており、犯人の指示により電子マネーカード等を購入する際にATMで現金を出金しているケースが見受けられる。

そこで掛川信用金庫では、ATMの初期画面にサギメール、はがきの原物の写真を表示し注意喚起することにより、被害の未然防止を図ることとした。開始日は10月9日、対象台数は同金庫の支店及び店外ATM66台である。

本年8月末の架空請求詐欺被害件数は66件、被害額約1億7,270万円であり、欺罔手段はメールが最多の38件となる。同時期の被害者のATMによる電子マネーカード等の購入資金の出金について、被害者24人、80回、約1,500万円であった。

今後の方針について、同金庫の対策をリーディングケースとして県内の地方銀行や信用金庫に対して同様の働き掛けを行う。

旨の報告を受けた。

## 平成30年上半期の児童虐待事案の状況等について（生活安全部）

生活安全部長から、

平成30年上半期の児童虐待事案について、認知316件514人(前年同期比(以下「同」)101件増加、同194人増加)、通告273件454人(同89件増加、同174人増加)であった。特徴として、認知、通告数ともに過去最多となり、心理的虐待の大幅増が全体数を押し上げている。一般からの通報が増えており、社会の関心の高さがうかがえる。

児童通告の態様別状況について、身体的虐待107人(同55人増加)、ネグレクト34人(同14人減少)、性的虐待4人(同2人増加)、心理的虐待309人(同131人増加)、うち面前DV138人(同1人減少)であった。被虐待児童の学職別は、「未就学児童」が188人で最多、次いで「小学生」168人、「中学生」54人となっている。

認知の端緒について、児童自身29件(同2件増加)、当事者78件(同37件増加)、家族104件(同38件増加)、一般人24件(同4件増加)、関係機関51件(同15件増加)、警察保護15件(同8件増加)、事案処理15件(同3件減少)であり、関係機関からの通報51件のうち、児童相談所からの情報提供等は19件で37パーセントを占めた。

検挙は32件(同7件増加)で、主な罪名は傷害12件(前年同数)、暴行11件(前年同数)、監護者性交・わいせつ7件(刑法改正により前年比なし)、殺人未遂1件(同1件減少)、強姦1件(同1件増加)であった。

今後の方針として、児童相談所と情報提供や援助要請などの連携を更に強化しつつ、学校や市町等の関係機関とそれぞれ情報を共有し、児童の安全確保を最優先とした適切な対応を図る。

旨の報告を受けた。

---

◇ 委員から、「認知の端緒の中に医療機関からの通報があるか。」との質問があり、警備部長が「県東部方面で、虐待の疑いがあるということで病院が児童相談所に通告し、その後警察に連絡が入った事例がある。病院側も児童虐待について関心を持っていて、早期に通告がされたということである。」旨説明した。

## 重傷引き逃げ被疑者（河津町職員）の逮捕について（交通部）

交通部長から、

8月26日(日)午前7時頃、賀茂郡河津町在住の地方公務員（24歳、男）が運転する普通乗用自動車、賀茂郡東伊豆町奈良本地先(国道135号)片側一車線道路において観光バスを追い越す際、対向車との衝突を避けようと左に急転把し観光バスの直前に割り込んだため、同車に急制動の措置を講じさせ、乗客を転倒・負傷させた上、逃走した過失運転致傷、道路交通法違反（救護措置義務違反、事故不申告）事実により、同男を9月19日午前7時51分、下田警察署において通常逮捕した。

現在継続捜査中である。

旨の報告を受けた。

---

◇ 委員から、「観光バスのドライブレコーダーの映像が重要となると思う。警察車両にドライブレコーダーは設置されているのか。」との質問があり、総務部長が「必要な警察車両には設置している。」旨説明した。

## 10月中の警察学校主要教養計画等について（警察学校）

警察学校長から、

10月中の警察学校の入校者数は、初任科長期課程110人、初任科短期課程49人の合計159人、うち19人が女性となる。

そのほかに、任用科が刑事任用科及び警備任用科の2課程、専科が職務質問専科、窃盗犯捜査専科等6課程ある。

主要教養計画は、入校式（初任科短期、5日）、特別指導期間（初任科短期、1日～19日）、校長査閲（初任科短期、18日）、実務研修（初任科長期、15日～19日及び22日～26日）である。

トピックとして、女性警察官に対する執行力強化訓練を実施した。

旨の報告を受けた。

---

◇ 委員から、「女性警察官に対する執行力強化訓練について、警察学校卒業後も各警察署において行っているのか。」との質問があり、警察学校長が「各警察署においても夏季や冬季訓練で逮捕術等の訓練を行っている。」旨説明した。